



KWANSEI GAKUIN

MASTERY FOR SERVICE

2022-2023



学校法人 関西学院

CONTENTS

キリスト教主義による全人教育で 幅広い視野を持つ世界市民を育成

関西学院は、幼稚園から大学・大学院までの教育機関を有する総合学園です。その教育課程、専門分野、教育目的、活動はさまざまですが、“Mastery for Service”を体現する世界市民を育成するという使命において同じ目標に向かっていきます。それとともに、関西学院の礎であるキリスト教主義に基づく全人教育という共通の根によってすべての学校が繋がっています。関西学院が大切にするキリスト教主義教育とは、他者や他文化の多様性を理解し尊重すること、世界的な視野をもって持続可能な社会への変革に仕えること、そしてそれを実行する自分とは何者であるかを知ることです。ますますグローバル化・オンライン化が進み、世界規模の問題解決が迫られる時代になってきました。この時代の中で、関西学院は、教育を通して、自らの課題を発見し、幅広い知識と深い専門性、生涯学び続ける力を身につけた世界市民を育成してまいります。

第18代関西学院院長 中道基夫

関西学院のミッション	3
------------	---

関西学院の歴史	5
---------	---

数字で見る関西学院	7
-----------	---

未来に向けて (Kwansei Grand Challenge 2039)	9
---------------------------------------	---

一貫教育で人を育てる	11
------------	----

関西学院の学校紹介	13
-----------	----

学校間の連携を強化	17
-----------	----

国際化を卓越したレベルへ	19
--------------	----

グローバルネットワーク	21
-------------	----

AI 活用人材を育成する	23
--------------	----

SDGs 推進への取り組み	24
---------------	----

進化する関西学院大学	25
------------	----

新生 KSC の特徴	27
------------	----

全学的な特色ある学び	29
------------	----

大学院	32
-----	----

教育・研究機関	33
---------	----

組織図／同窓会・後援会	35
-------------	----

キャンパス	37
-------	----

アクセス	39
------	----

MISSION

関西学院のミッション



“Mastery for Service”を
体現する世界市民を
育成します



創立者

W.R.ランバス

アメリカ人宣教師W.R.ランバスは1889年、キリスト教主義教育による全人教育を目指し神学部と普通学部からなる関西学院を創立しました。

世界市民

「世界市民」とは創立者W.R.ランバスのように他者と対話し共感する能力を身につけ、よりよい世界の創造に向けて責任を担う人々を意味します。



第4代院長・初代学長

C.J.L.ベーツ

カナダ人宣教師C.J.L.ベーツが提唱した“Mastery for Service(奉仕のための練達)”はスクールモットーとして大切に守られています。

Mastery for Service

“Mastery for Service”とは「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

Mastery for Service

HISTORY

関西学院の歴史



創立当時の学生と教員

1889

神戸の東郊・原田の森に
神学部と普通学部を持つ
関西学院を創立

- 1894 新月の校章を制定
- 1912 「専門学校令」により高等学部(文科・商科)開設
のちに第4代院長となるC.J.L. ベーツが
スクールモットー “Mastery for Service” を提唱
- 1929 上ヶ原(現西宮市)に移転
- 1932 「大学令」により関西学院大学の設立認可、
C.J.L. ベーツが初代学長を兼務、大学予科開設

- 1933 校歌「空の翼」発表
- 1934 大学法文学部と商経学部開設
- 1946 大学の機構を改め、文学部、法学部、経済学部の
3学部となる
- 1947 新学制により中学部開設
- 1948 新学制により大学、高等部開設
- 1951 商学部開設
- 1952 文学部神学科を独立させ神学部を開設
- 1960 社会学部開設
- 1961 理学部開設
- 1995 総合政策学部を神戸三田キャンパスに開設



上ヶ原移転当時の写真



ベーツ院長の倫理学講義

- 2009 学校法人聖和大学と合併
教育学部を西宮聖和キャンパスに開設
- 2010 学校法人千里国際学園と合併、国際学部開設
- 2011 Cross-Cultural College
(平成23年度文部科学省
大学の世界展開力強化事業)採択
- 2012 実践型“世界市民”育成プログラム
(平成24年度文部科学省国際化拠点整備事業
補助金)採択

- 2001 大学院言語コミュニケーション文化研究科開設
理学部が神戸三田キャンパスに移転、
翌年理工学部に変更
- 2004 専門職大学院司法研究科(ロースクール)開設
- 2005 専門職大学院経営戦略研究科
(経営戦略専攻・会計専門職専攻)開設
- 2006 国連難民高等弁務官駐日事務所との協定に
基づき、日本で初めて難民を対象とする
推薦入学制度を設置
- 2008 人間福祉学部開設
初等部開設



実践型“世界市民”育成プログラム



神戸三田キャンパス上空写真

2021

- 2014 創立125周年
平成26年度文部科学省
「スーパーグローバル大学創成支援」事業採択
- 2015 理工学部に先進エネルギーナノ工学科、
環境・応用化学科、生命医学科開設
- 2017 国連・外交プログラム／
大学院副専攻国連・外交コース開設
- 2019 西宮北口キャンパス開設
- 神戸三田キャンパス(KSC)再編
理学部、工学部、生命環境学部、
建築学部新設

校章



三日月をかたどった校章は、新月が満月に向けて変化するように、関西学院で学ぶ者が成長と進歩の途上にあることを表しています。また、月が太陽の光を受けて輝くように、私たちが神の恵みを受けて世の中を明るくしていきたいという思いも込められています。

校名の由来



日本全国にあるミッションスクールの多くが「英和学校」を名乗る中、慣例を破り、西日本の学術研究・教育機関のリーダー的存在になるように「関西学院」と名づけられました。英文表記は「KWANSEI GAKUIN」であり、現在でも漢音読みを用いています。

伝統を伝えるヴォーリズ建築



西宮上ヶ原キャンパスは、1905年に英語教師・宣教師として来日したW.M. ヴォーリズによって設計されました。赤い瓦屋根とクリーム色の外壁を特徴とする関西学院独特のスパニッシュ・ミッション・スタイルは、新しい校舎群やほかのキャンパスにも継承されています。

校歌「空の翼」



1933年に前年の大学昇格を記念してつくられたのが校歌「空の翼」です。関西学院同窓生の山田耕筈が作曲、詩人の北原白秋が作詞。この校歌が関西学院の精神を表し、多くの在学生・卒業生から親しまれています。

キリスト教主義教育

関西学院はキリスト教主義を
建学の精神としております。

世界的な広い視野と価値観を持って活躍できる

人間形成への営みが、

キャンパスのいたるところで展開されています。

NEW DATA

数字で見る関西学院 (2022年4月末時点)

学校数／学生・生徒・児童数

9校 / 約28,580名

関西学院幼稚園	217名	関西学院千里国際中等部	217名
関西学院初等部	541名	関西学院千里国際高等部	285名
関西学院中学部	741名	関西学院大阪インターナショナルスクール	275名
関西学院高等部	1,155名	聖和短期大学	260名
		関西学院大学・大学院	24,874名

教育・研究の国際連携

57カ国・地域
280を超える大学・
国際機関と連携

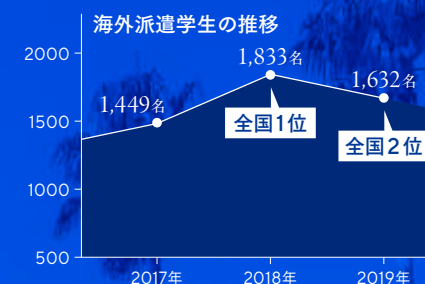


詳細はこちら

海外留学派遣者数

全国 トップクラス

関西学院大学では多様な留学プログラムを完備するとともに、留学希望者向けの奨学金制度など、支援策も充実しています。2014年から文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業による国からの支援もあり、留学する学生の数が増加し、2018年度は海外協定大学への派遣者数が国内第1位の1,833名になりました。2019年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったプログラムもありますが、オンライン上で留学体験できるプログラムなどを展開し、すでに多くの学生が参加しています。



(2020年3月公表)
日本学生支援機構
「2018年度 協定等に基づく日本人学生留学状況調査」
2位 関西外国語大学: 1,659名
3位 早稲田大学: 1,656名
4位 立命館大学: 1,548名
5位 芝浦工業大学: 1,364名

大規模大学の実就職率ランキング

全国1位

就職率※1

99.3%

就職先への満足度

95.9%

就職率は就職希望者数のうちの就職者の割合です

2021年春に卒業した学生の実就職率※2 89.7%。「2021年実就職率ランキング」(2021年 大学通信)において、卒業生5,000人以上の大学で全国1位となりました。

※1 就職率は就職希望者数のうちの就職者の割合です。

※2 実就職率は、大学院進学者を除く卒業生数のうちの就職者の割合です。



詳細はこちら

研究力大学ランキング

私立4位

2020年1月に国際的な自然科学ジャーナル82誌に掲載された論文の数と内容をもとに順位付けされた指標「Nature Index 2021」ランキングで、国内の大学で25位、私立大学では慶應義塾大学、早稲田大学、東京理科大学に続き4位に入りました。関西学院大学は将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」において、競争的環境により、世界トップレベルの研究を創り出すことに取り組んでいます。



2039

未来に向けて

将来構想

「Kwansei Grand Challenge 2039」

を実行

関西学院では、創立150周年を迎える2039年に向けて、学院のあるべき姿を示す「超長期ビジョン」とそれを実現するための方向性を示す「長期戦略」をまとめた、将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を策定し、その取り組みを活発化させています。

2039年、日本は超高齢化社会になり、18才人口が3割減少し、AI（人工知能）によって社会や仕事の在り方が劇的に変化します。このような未来予測と外部環境の分析等を実施し、「“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成」というミッションステートメントに基づき、園児・児童・生徒・学生がどのような知識や能力、資質を身につけるべきか、そのためにはどのような学校であるべきなのか、を主題において本構想をまとめています。

どのような時代にあっても、人生の目標を抱き、高い知識・技能とともに、自らを律する「強さ」と、誠実さ・思いやりなど人格としての「品位」を兼ね備え、隣人・社会・世界に貢献する。関西学院の教育の最終目標は、卒業生がそうした「真に豊かな人生」を送ることにあります。そのために、学生は社会で活躍するための知識・能力・資質を卒業までにしっかりと身につけ（学修成果の修得）、大学はそれを保証する仕組みを確立し（学生の質の保証）、その信頼性の高さによって学生は自ら望む就職・進路を実現させる（質の高い就労）ことを長期戦略における中心課題としています。

詳細はこちら



超長期ビジョン9つのカテゴリー

Nine categories

長期戦略42のテーマに中期総合経営計画として120の計画

本構想では、「教育理念」をはじめとする以下の9つの超長期ビジョンカテゴリーを設定し、長期戦略として42のテーマを設け、長期戦略を具現化するための中期総合経営計画として120の計画を実行しています。

1	教育理念	世界的課題の解決に挑む、「強さと品位」を持った人間を育てる
2	学士課程教育	社会や世界に貢献して「真に豊かな人生」を送るための基盤を創る
3	大学院教育	研究者と社会から求められる高度職業人を輩出する
4	研究	競争的環境により、「世界トップレベルの研究」を創り出す
5	総合学園と一貫教育	建学の精神を共有し、幹の太い総合学園を実現する
6	産官学連携	産官学の連携強化により教育・研究のブランドを高める
7	国際化	伝統ある「国際性」を卓越したレベルに進化させる
8	学校経営	ガバナンス改革を進め、総合的マネジメントを実現する
9	DX(デジタルトランスフォーメーション)	デジタル技術を用いて教育・研究の質を高め、業務・サービスを変革する

Kwanseiコンピテンシー

Kwansei Competencies

すべての学生が身につけるべき知識・能力・資質

関西学院大学では、すべての学生が卒業時に学部区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwanseiコンピテンシー」として定め、これを大学の教育に徹底するものとして位置づけています。



一貫教育で人を育てる

総合学園として理念を共有し より良い社会に貢献する人材を育成する

キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」である関西学院は、
初等教育から大学・大学院にいたる一貫教育で“Mastery for Service”を体現する人材の育成を図ります。



関西学院 幼稚園

キリスト教主義に基づく
幼児教育の実践を通して
幼児期しかできない
体験を

豊かな自然環境をはじめと
する愛情を感じる空間で、
主体的な活動としての「遊
び」を中心とした保育を行っ
ています。

関西学院 初等部

Bible, Grobal,
Universal, Authentic
を柱とした
キリスト教主義教育

子どもたちが自らの意思を持
ち、社会や世界と調和して
生きていく力を育む教育を
実践しています。

関西学院中学部

キリスト教・読書・英語・体育・芸術を
柱に「感謝・祈り・練達」を
理念とした全人教育

これからの時代を生きる子どもたちのために、受
験勉強に縛られない、豊かな力を身につけます。
確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕す
る実践力を養います。

関西学院千里国際 中等部(SIS)

国際色豊かな環境で最先端の
教育活動を展開

さまざまな言語が飛び交う多文化共生という環
境の中で、OISと一体となり、「知識と思いやり
を持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個
人」の育成を図ります。

関西学院高等部

生徒の創造性と主体性を伸ばし
大学で学ぶための
学問的素地を培う

探究的な学びを実施し、大学や社会に必要な
力を育成するカリキュラムを展開。キリスト教主
義教育による人間性の陶冶。人権教育、課外
活動を通して総合的な人間性を醸成します。

関西学院千里国際 高等部(SIS)

中等部で培った基礎力をベースに
進路・興味に合った授業を履修

中等部・高等部ともに「5つのリスペクト」という
行動指針を設定。生徒自らの判断で行動する
力を養います。生徒自身が科目を選ぶ独自の時
間割システムで学ぶ意欲を引き出します。

関西学院大学・ 大学院

国際社会に貢献する
「世界市民」の一員として
“Mastery for Service”を実践する
人材を育成

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題
発見・解決能力、実行力を兼ね備えた、地
域社会・国際社会の発展に寄与する「世界
市民」の育成に力を注いでいます。

聖和短期大学

世界の子どもの幸せにする
実践力を持つ保育者を養成

少人数による授業、アドバイザー制度などきめ
細かい教育を実施。専門性と実践力を持つ
保育者を育てます。

関西学院 大阪インターナショナル スクール(OIS)

日本初の
国際バカロレア(IB)全レベル認可校
主に日本在住の外国人生徒が学ぶ

多国籍の生徒・教職員がともに英語で学ぶ、国
際標準の教育プログラムを実施。卒業生の多くが
海外を中心とした著名な大学に進学しています。

関西学院の学校紹介

▶ 関西学院幼稚園



詳細はこちら

愛情を感じ、喜びと感謝を持って、共に生きる

教育理念

神様から命、個性を託された子どもたちを大切に守り育てるキリスト教主義に基づく幼児教育を実践。幼児期の「今」にしかできないことを、子どもたちが喜びをもって主体的に、友だちや保育者と共に経験する幼児教育を行います。

学び

樹木に囲まれた園舎は、木材を基調にした落ち着いた建物で、ぬくもりを感じる雰囲気になっています。園内の備品は発達に合わせて各学年で高さや配置に配慮。園庭は森さながらの自然環境で、異年齢の子どもと交流しつつ、多彩な遊びを通して身体能力の発達ができるようにしています。子どもたちは友だちと活発に遊び、自然に触れて豊かな感性を育めるようになっています。



▶ 関西学院初等部



詳細はこちら

他者のために自らを鍛え、他者と共に歩む

教育理念

「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」という聖句のもと、あらゆる場面での人と人との関わりを大切に、「他者のために他者とともに自らを鍛え、他者とともに歩む」子どもの育成を図ります。

学び

聖書や礼拝の時間を通して、人を思いやる気持ちや感謝できる心を育てます。英語教育に力を入れ、コミュニケーションを楽しみながら異なる価値観の獲得を図るとともに、子どもたちが全員参加で主体的に問題解決を図る学習を実践。また、文化やスポーツ、芸術、自然に触れる機会を設け、豊かな感性を育みます。自分自身の存在の価値、友人の大切さを感じられる教育を行います。



▶ 関西学院中学部



詳細はこちら

「感謝・祈り・練達」をモットーに全人教育を展開

教育理念

正門付近には、おぼれた従兄弟を救うために海に飛び込んだ白木真寿夫少年像を設置。彼の行いは「友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない」という聖句とともに中学部の精神として受け継がれています。

学び

「感謝・祈り・練達」をモットーに、神から与えられた命に感謝し、祈りをもって自らを養い鍛える全人教育を推進。創設以来、「師弟同行」をモットーに、毎日の駆け足やマラソン大会、体育大会、野外教育などで生徒が教員や大学生のコーチなどとともに汗を流します。キリスト教・読書・英語・体育・芸術に力を入れ、受験勉強に縛られず、豊かな力を身につけます。



▶ 関西学院高等部



詳細はこちら

他者に、世界に貢献できる人になる

教育理念

他者と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心や真摯な態度を備えた人格形成を目標にしています。関西学院大学への推薦制度に支えられ、さまざまなことに挑戦できる環境を提供し、バランスの取れた人間形成をめざします。

学び

探究型のカリキュラムを展開し、生徒の主体的な学びをサポートしています。関西学院大学との高大連携を推進し、3年生は大学教授による「大学関連科目」を開講しているほか、大学の講義、プログラムを受講できる機会も設けています。



関西学院の学校紹介

▶ 関西学院千里国際中等部・高等部(SIS) 関西学院大阪インターナショナルスクール(OIS)



SIS詳細 OIS詳細

知識と思いをやりを持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個人

教育理念

帰国生徒、外国籍児童生徒、そして一般生徒が集うキャンパスは「小さな国際社会」です。互いを尊重し共に学ぶうちに、自己と異なる他者を受け入れる力が自然なかたちで身につく、「世界市民」として成長します。

学び

SISは文部科学省の学習指導要領に準拠した国際教育、OISはIB（国際バカロレア）とWASC（米国西部地域私立学校大学協会）に認定された学校としての教育を行います。Two Schools Togetherのキャンパスで、SISとOISの生徒が共に学ぶプログラムも数多く設置されています。日英バイリンガル環境も整い、言語力を含めた「コミュニケーション力」を大切にしています。



▶ 聖和短期大学



詳細はこちら

世界の子どもの幸せのために

教育理念

キリスト教精神に基づく人間性を備えた「保育の専門家」を育成。関西学院のモットーである“Mastery for Service”のもと、隣人や社会、世界に仕えるため、自らを鍛え、世界の子どもの幸せのために貢献する人材を育てます。

学び

西宮聖和キャンパスは自然に恵まれ、多くの子どもたちが遊びにやってきます。学生たちは子どもたちを身近に感じながら、教育者・保育者としての感性を育み、学びを深めます。実習中心の実践的カリキュラムと少人数による講義によって必要な知識とスキル、責任感、使命感を育みます。伝統と実績で培ったネットワークを生かし、幼児教育・保育分野で高い就職率を実現しています。



▶ 関西学院大学・大学院



詳細はこちら 情報公開データ

「世界市民」として社会を変革する力を養う

教育理念

紛争や飢餓、環境破壊などの深刻な課題が山積する現代社会で、困難に果敢に立ち向かい、解決する人材の育成を図ります。WR.ランパスの意志を受け継ぎ、思いやりと高潔さを持ち、社会を変革する人を育てます。

学び

西宮上ヶ原キャンパスに文系8学部、西宮聖和キャンパスに教育学部、神戸三田キャンパスに文理5学部を配置。学部での専門教育に加え、語学や各種留学などグローバル教育を推進する一方、AI活用人材育成プログラムや専門以外の分野を学ぶダブルチャレンジ制度、自らの将来のためのキャリア教育、国内外での社会貢献など、学生の可能性を開く教育を積極的に行っています。



学部・学科・大学院構成

学部

● 神学部

● 文学部

文化歴史学科
総合心理科学科
文学言語学科

● 社会学部

社会学科

● 法学部

法律学科
政治学科

● 経済学部

● 商学部

● 人間福祉学部

社会福祉学科
社会起業学科
人間科学科

● 国際学部

国際学科

● 教育学部

教育学科

● 総合政策学部

総合政策学科
メディア情報学科
都市政策学科
国際政策学科

● 理学部

数理科学科
物理・宇宙学科
化学科

● 工学部

物質工学課程
電気電子応用工学課程
情報工学課程
知能・機械工学課程

● 生命環境学部

生物科学科
生命医科学科
環境応用化学科

● 建築学部

建築学科

※ 2021年4月
理系4学部新設

大学院

● 神学研究科

● 文学研究科

● 社会学研究科

● 法学研究科

● 経済学研究科

● 商学研究科

● 理工学研究科

● 総合政策研究科

● 言語コミュニケーション 文化研究科

● 人間福祉研究科

● 教育学研究科

● 国際学研究科

● 司法研究科 (ロースクール)

● 経営戦略研究科

学校間の連携を強化

学院の人・資産を活用し 関西学院大学の精神を受け継いでいく

関西学院では幼稚園から大学まで、相互の関わりを大切にしています。
”Mastery for Service”の精神を受け継ぐために、
人の交流、教育の連携、施設の活用などを積極的に進めています。

人の交流

成長段階が異なる 生徒・学生が学び合う

初等部の6年生が中学部を訪問するイベントのほか、初等部・中学部・高等部に関西学院大学の学生・大学院生を派遣し、スポーツ活動の指導やキャンプの引率、学習支援などを実施。異なる年齢の交流を推進しています。



取り組み事例

- 幼×高 授業交流
- 幼×大 学生ボランティア
- 初×大 大学留学生訪問交流
- 初×中×高×大 大学生派遣(スポーツ活動協力)
- 初×中×高×大 大学生派遣(プログラミングワークショップ)
- 初×中 6年生親子中学部訪問
- 初×中 生徒会役員交流
- 初×高×大 キャンプリーダー
- 高×大 留学生多文化交流

教育の連携

大学の授業を体験 教員の相互派遣も実施

中学部・高等部、千里国際中等部・高等部、大阪インターナショナルスクールの生徒たちが大学主催の各種コンテストに参加できるようにするなど、教育面でも連携を強化。さらに学院内において授業講師派遣も行っています。



取り組み事例

- 幼×初×中×高×大 教育実習
- 幼×大 教員派遣(子育て支援事業)
- 幼×初×中×高×大 授業講師派遣
- 初×大 授業研究
- 中×大 オープンラボ(1日体験入学)
- 中×高×大 大学生授業補助者派遣
- 高×大 授業受講(英語インテンシブ・プログラム)
- 高×中×高×大 KGビジネスプランコンテスト
- 高×千×高×大 授業受講(高大連携科目)
- 高×千×高×大 授業科目提供
- 高×大 SPring-8見学会

施設の活用

学院の諸施設の 利用が可能

学院内の中学生以上の生徒・学生であれば、大学図書館を利用することができます。大学の諸施設や三田市にある千刈キャンプを利用した行事など、関西学院のスケールメリットを生かした教育を活発に実施しています。



取り組み事例

- 中×高×大 大学図書館利用サービス提供
- 初×大 NISHIKITA CROSS(アフタースクール)
- 千×中×高×大 中央講堂イベント
- 幼×初×中×高×大 千刈キャンプ

TOPICS

グローバルリーダーを 育成する世界市民明石塾

関西学院大学では、ミッション「“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成」のもと、将来グローバルリーダーとなることをめざす高校生を対象に、初代塾長である元国連事務次長の明石康氏の名前を冠した「関西学院世界市民明石塾」を開講。国連・外交の分野で活躍してきた大学の教員のもとで、国際的課題について考察する機会としています。



国際化を卓越したレベルへ

文化・習慣の違いを越えて グローバルに生きる力を身につける

関西学院では学院内の学校で、国際化・グローバル教育を推進。
国・地域や言語、文化、習慣の違いを越えて、
真の「世界市民」として活躍するための素養・資質を磨きます。

各学校の主な特徴

▶ 関西学院初等部

- 1年生から毎日英語を学習
- 関西学院大学の留学生との交流
- カナダ・バンクーバーでホームステイ
- 毎年1回英語検定にチャレンジ

▶ 関西学院中学部

- 英語弁論大会や海外交流活動を推進
- 英語授業数公立校の1.5倍
- 英語多読1年間、1人あたり40冊以上
- 日本人教員とネイティブスピーカー教員によるチーム・ティーチング(英語指導)



▶ 関西学院高等部

ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)
コンソーシアム構築支援事業拠点校※1

- 長年に渡る海外提携校との交流事業
- 日本人教員とネイティブスピーカー教員によるチーム・ティーチング(英語指導)
- 海外の高校生とオンラインで一緒にプロジェクトを実施するPBL型授業の展開
- 高等部生による“Meal for Refugees”(在日難民の出身国の料理を提供するイベント)の開催
- 関西学院大学の「高大連携科目」「英語インテンシブ・プログラム」などの各種授業が受講可能
- スーパーグローバルハイスクール(SGH)採択※3(2014～2018年度)

▶ 関西学院千里国際中等部(SIS)

- 英語の学習はABC～ネイティブまで5つのレベル分け
- 35カ国以上からの帰国生が在籍
- 1クラス約20名の少人数指導
- 学校の枠を越え生徒が授業や活動と一緒にを行うシェアードプログラム

※1 ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業拠点校
文部科学省指定事業 2019年度採択。世界で活躍できるグローバル人材育成のため、
高等学校などと国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高度な学びを提供します。

※2 ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業連携校
WWL事業に参加する高等学校などと連携して取り組みます。

※3 スーパーグローバルハイスクール(SGH)採択
国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成を行う高校を文部科学省が指定する制度。国際的素養を磨くさまざまな教育が用意されています。

※4 国際バカロレア(IB)
国際バカロレア機構が提供する国際的なプログラム。世界に通用する教育を実施し、世界の大学進学資格が与えられます。

※5 スーパーグローバル大学創生支援事業
高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の大学との連携や大学改革、
より徹底した国際化を進める大学に対して国が行う支援事業。

※TOEIC®およびTOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けたその承認を得たものではありません。



▶ 関西学院 千里国際高等部(SIS)

- 日英バイリンガル環境で日常生活
- 自分で作る時間割
- 関西学院大学だけでなく国内・海外さまざまな進路
- スーパーグローバルハイスクール(SGH)採択※3(2015～2019年度)
- ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業提携校※2(2019～2021年度)

▶ 関西学院大阪 インターナショナルスクール(OIS)

日本初小・中・高国際バカロレア(IB)認定校※4

- SISとキャンパスや学びの一部を共有
- 世界各国・地域からの児童・生徒が学ぶ
- 国内で最も歴史あるIB教育校のひとつ
- 世界で活躍できる生徒を育てる

▶ 関西学院大学・大学院

スーパーグローバル大学創生支援事業※5
「国際性豊かな学術交流の母港
『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」構想

- 海外協定校への派遣学生数国内第1位を実現(2018年度実績)
- 54カ国280を超える大学・国際機関と連携した豊富な国際教育プログラム。学部・研究科でも専門を生かした多様なプログラムを提供
- アジアで初めて「国連ユースボランティア」へ学生派遣
2013年度からは国内大学の学生派遣の拠点に

● 大学院副専攻「国連・外交コース」／学部副専攻「国連・外交プログラム」の提供と「関西学院大学国際機関人事センター」での手厚いキャリア支援で国際公共・国際協力分野のリーダー輩出へ

● 総合的な語学力を高めるインテンシブ・プログラムや学内でのTOEIC®、TOEFL無料受験機会の提供で学生の英語力向上を後押し

● 世界各国から年間1,400名以上の留学生を受け入れ

● 外国人留学生と寮生活をしながらサポートを行うレジデントアシスタント制度の導入等で、留学生との融合機会を拡大。2021年秋～新国際教育寮を供給開始予定

TOPICS

2022年3月 新たな国際教育寮「有光寮」を開寮

世界中から集まる外国人留学生と共同生活を行う国際教育寮が2022年3月に開寮しました。文化・宗教・考え方など多様な価値観を学び、相互理解を深めます。イベントスペースなどが整い、交流の機会を創出します。



グローバルネットワーク

世界の大学・国際機関と連携 相互交流する協定校ネットワーク

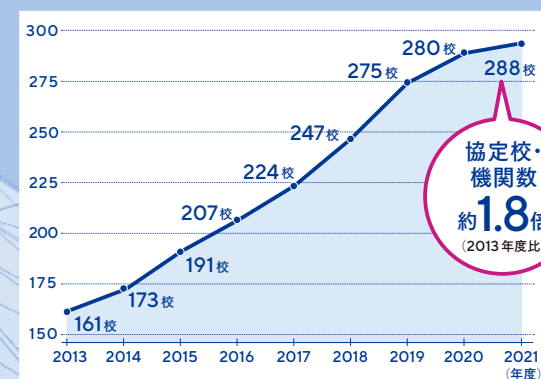
世界に開かれ、世界と共生することを目標に、世界の大学・国際機関と学生・教員の相互交流を図っています。
これまで培った海外の協定校ネットワークを生かし、国際ボランティアや外国語研修など多彩な留学プログラムを展開しています。



詳細はこちら



【協定校・機関数の推移】



関西学院大学の教育の質が世界で認められ「協定校・機関」との連携が増えていきます。協定校・機関であることは、例えば、留学の金銭的な負担が少ないことや留学先で修得した単位が関西学院大学の単位として認められるなど学生にとって大きなメリットがあります。

世界57カ国・地域、280を超える
大学・国際機関と連携

ヨーロッパ
Europe
92

中東
Middle East
2

アジア
Asia
94

北米
North America
66

アフリカ
Africa
2

国際機関
International
Organization
6

中南米
Latin America
9

オセアニア
Oceania
17

TOPICS

アジア初

特色ある海外プログラム

▶国連ユースボランティア

関西学院大学は、世界で3番目、アジアで初めて国連ボランティア計画（UNV）と協定を締結。これまでに多くの学生が世界35カ国の国連諸機関で約5カ月間、プロジェクトに従事しながら「世界市民」になるための資質を実践的に養っています。

▶ダブルディグリー留学

国際的環境で学びたい学生や、海外の大学院への進学を考える学生にとって大きな魅力のダブルディグリー留学。本学在学中に海外の協定校に1～2年半留学し、正規のカリキュラムを履修して、関西学院大学と海外の協定大学の2つの学位が取得できます。（社会学部、商学部、国際学部が実施）

AI活用人材を育成する

AIを学び、AIを活用して ビジネス課題・社会課題を解決できる力を育む

AI(人工知能)の発展により、Society5.0と呼ばれる新しい社会が目前まで来ています。
AIを駆使し、イノベーションを起こす力を持ち
Society5.0を率先して切り拓く人材の育成を図ります。



詳細はこちら

初中高大連携のAI&プログラミング教育

初等部から大学まで連携してAI活用スキルを学ぶ

AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技术をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会 Society5.0 を切り拓く力を養うために、初中高大で連携して、AIを活用できるスキルを身につける先端的な教育を実施しています。



高等部がWWLC*に採択

SDGsの目標を達成するためにAIを活用

Society 5.0 を牽引し世界で活躍できる人材育成を目的とした文部科学省の事業「WWLC」に採択。先進的なカリキュラムで、連携校、企業、国際機関等と協働し、AIの活用によりSDGsの課題を解決できる能力を培います。

*WWLC ワールド・ワイド・ラーニング コンソーシアム 構築支援事業



AI活用人材を育成する類のない先端的教育プログラム

全学生に「AI活用人材育成プログラム」を開講

AI・データサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の諸問題を解決できる力を育むために、文系理系問わず全ての学部生に「AI活用人材育成プログラム」を開講。2021年より企業や自治体にもプログラムを提供しています。



SDGs推進への取り組み

国際目標SDGsへの貢献は 本学の理念の達成に通じる

「世界を変えるための17の目標」である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、大学の営み全体を通じて貢献し、
スクールモットー“Mastery for Service”を体現します。



詳細はこちら

SDGs × 研究

産官学共同で SDGsに貢献する

SDGsの17の目標達成に向け、広範な課題に対し、産官学で協力して取り組んでいます。例えば、金子忠昭・工学部教授が、次世代パワー半導体材料SiC(シリコンカーバイド)基板内の「欠陥」を無害化する、非接触型の表面ナノ制御プロセス技術「Dynamic AGE-ing®」を豊田通商株式会社と共同で開発に取り組むなど、さまざまな研究が成果を上げています。

SDGs × 教育

SDGsへの関心を 育み、実践に繋げる

関西学院大学では、2021年度からSDGsに関する入門科目を全学生対象に開講。また、学生によるSDGs推進組織「KG SDGsキャンパスサポーター」と大学が連携して実践的な取り組みを始めています。初中高でもSDGsへの理解を深め行動を起こすプログラムを設置。動画コンテストで千里国際高等部の学生が最優秀賞を受賞するなど、さまざまな成果が報告されています。

SDGs × 経営

誰もが輝けるダイバー シティ社会に向けて

これまで学院では、男女共同参画を中心に、女子学生および女性研究者のキャリアパスの拡大に積極的に取り組んできました。「関西学院大学女性研究者研究活動支援者」制度や「関西学院内保育施設ばふら保育園」の創設などを経て、2019年度より「関学ダイバーシティ推進本部」を設置。ダイバーシティ社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを推進します。

TOPICS



国際公共分野の リーダー輩出をめざす

大学に国連・外交統括センターを設置し、高校、大学、大学院、修了後を通貫する人材育成プログラムの提供やキャリア支援を実施しています。国際機関職員や外交官など、国際公共分野におけるリーダーの輩出をめざしています。



他大学・機関等と 連携した取り組みの推進

関西学院大学では、国連大学SDG大学連携プラットフォーム(SDG-UP)や関西SDGsプラットフォーム大学分科会に加盟しパイロットプログラム開発を進めています。また、万博の共創パートナーとしても参画しています。



KSCをSustainable Energyの一大拠点に

神戸三田キャンパス(KSC)では、キャンパス全体でSustainabilityへの取り組みを推進しています。2021年度には、KSCの学生が主体となり、企業と連携して実現したマイボトルプロジェクトがコンテストで賞を獲得しました。

進化する 関西学院大学

関西学院大学はスクールモットーである“Mastery for Service”のもと、時代に先駆けて長年にわたり「世界の課題を解決し、社会をより良くする『世界市民』」を育てる教育・研究を進めてきました。そして2021年、関西学院大学はこれまでの取り組みをより進化させるために、神戸三田キャンパスを再編・拡充しました。学生・教職員が、国境や文系・理系、学問分野、大学と社会などさまざまな枠を越えた教育に取り組み、複雑化する未来に向けて「境界を越える革新者(Borderless Innovator)」の育成を図ります。

2021.04 理系4学部を新設

神戸三田キャンパス(KSC) 西宮上ヶ原キャンパス

理学部
工学部
生命環境学部
建築学部
総合政策学部

神学部
文学部
社会学部
法学部

経済学部
商学部
人間福祉学部
国際学部

西宮聖和キャンパス

教育学部

神戸三田キャンパス 新生KSCの特徴

2021年4月 神戸三田キャンパスは 文理横断型キャンパスに変わりました

世界の課題解決には多様な専門分野の知識が必要になります。
そこで関西学院大学では、教育と研究の環境を整えた文理横断型キャンパスへと
KSC(神戸三田キャンパス)を進化させました。

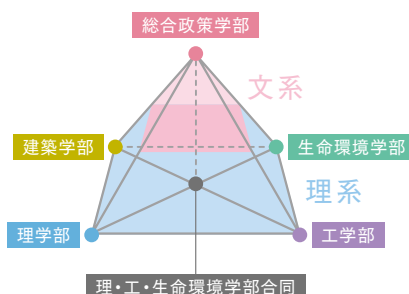


詳細はこちら

KSC FEATURE 1 分野を越える

文理分野横断型の教育システム

理系4学部と総合政策学部の専門分野の基礎科目で構成する「KSC分野横断科目群」と「KSC総合教育科目」を設置。また、自らの専門の隣接分野も学ぶ「マルチプル・メジャー（複専攻）」制度も導入し、複眼的な視点と専門性を持つ“Borderless Innovator”（境界を越える革新者）を育成します。



KSC FEATURE 2 一大研究拠点を形成

テーマは“Sustainable Energy”

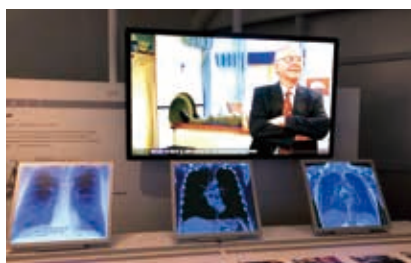
重点研究の1つをSDGsの7番目の目標である「持続可能なエネルギー（Sustainable Energy）」に設定。理科学部の最先端研究（次世代有機EL、人工光合成、パワーエレクトロニクス、スマートシティなど）と総合政策学部が蓄積された研究成果を活用し、持続可能な社会の実現に寄与します。



KSC FEATURE 3 国境を越える

海外プログラムがさらに充実

各学部における専門分野に沿った海外学修科目（PBL＝Project-based Learning、フィールドワーク、インターンシップなど）を大幅に拡充。各国・地域の学生とともに課題の解決に取り組むプログラムや現地での高度な研修を擁するプログラムのほか、2021年度はオンラインプログラムも実施しました。



シリコンバレー研修
Googleなどに訪問実績

TOPICS

寮×インキュベーション 学部・学年・学問を越えた交流

キャンパス近隣地に学生がさまざまな交流ができる空間を配置した学生寮（300人収容）を2025年4月に開設。自治体や企業、住民などが集い、交流・協働しながら起業家育成・支援を行うインキュベーション施設も併設します。



※写真はイメージです

KSC FEATURE 4 起業家を育成する

アントレプレナー育成プログラムを創設

本学出身の起業家12人を講師に招いたベンチャー起業家講座や、日本IBMと共同開発した「AI活用人材育成プログラム」などで起業にむけた知識やスキルを修得します。起業体験を積み重ねるプログラムも充実。また、卒業生の企業創業者の協力のもと、学生の事業の創出や起業を支援します。

起業支援金

30億円

卒業生が投資家として資金提供予定

KSC FEATURE 5 学生と企業をつなぐ

ビジネスマインドを醸成するBiZCAFE

理系学生のビジネスマインド醸成を目的にオープンしたBiZCAFEでは、企業、社会人が学生に助言・支援する会員制コミュニティ「BiZCLASS」を展開しています。オリジナルマイボトルを持参した学生にはコーヒーや紅茶などの飲料を無料で提供するなど、サステナブルキャンパスの一翼を担っています。



KSC FEATURE 6 新しい学びの場

Camping Campus(キャンピングキャンパス)

アウトドアブランドのスノーピークと連携し、教育の中に自然を取り入れた新たな学びの場として、「Camping Campus」を実施。学部・学年が異なる学生たちがキャンパス内でキャンプを行い、SDGsをテーマとしたディスカッションをするなど、自由な発想でイノベーションを起こせる仕掛けづくりを行っています。



全学的な特色ある学び

次代を切り拓くために必要な力を養う 特色ある学びを推進

関西学院大学は時代の変化や社会の要請に応え、その教育を進化させてきました。
主専攻(学部・学科)の学びに加え他大学にはない教育プログラムを用意して、学生一人ひとりの未来に向けた教育を推進しています。

Feature 1 //

AI活用人材育成プログラム

AIを活用できる力を育成

関西学院大学では、日本IBMと共同で「AI活用人材育成プログラム」を開発しました。このプログラムは、今後の社会でますます必要とされるAI活用人材を育成します。基礎から実践、応用まで段階的に学べるように設計。文系・理系関係なく、特別な知識やスキルがなくても履修できます。



Feature 2 //

国連・国際機関等へのゲートウェイ

国連職員や国際課題解決に貢献する人材をめざす

これまで国連と連携した活動を展開してきた関西学院大学では、学部「国連・外交プログラム」、大学院に「国連・外交コース」を副専攻として設置。国連・外交の第一線で活躍してきた実務家教員を中心に、国際的な課題解決に挑むことができる人材を育成する教育を推進しています。

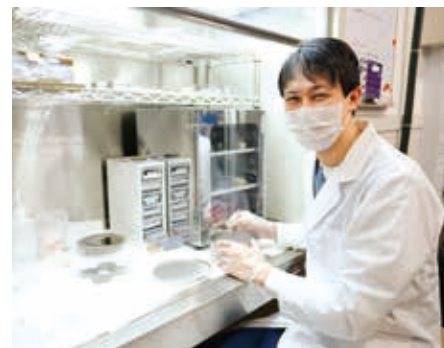


Feature 3 //

高度な研究プロジェクト

最先端研究で社会に貢献する

さまざまな分野で高度な研究が行われる関西学院大学。その内容は高く評価され、日本学術振興会や科学技術振興機構など各種機関の助成事業の対象となっています。また、企業との共同研究にも積極的に取り組み、「世界トップレベルの研究」を創出することを目標に掲げています。



Feature 4 //

ダブルチャレンジ制度

全学生が異なる分野に挑戦する

学部・学科での学び「ホームチャレンジ」に加えて、もう一つの学び「アウェイチャレンジ」に挑戦するダブルチャレンジ制度。3つのプログラムを擁するアウェイチャレンジを通してグローバル社会で活躍するために必要な「主体性」「タフネス」「多様性への理解」を養います。



学部・学科の学び（ホームチャレンジ）

／アウェイチャレンジ

インターナショナルプログラム

国を越え、世界を知る

豊富な留学プログラムが整う関西学院大学。コロナ禍において、一定の条件下で他大学に先駆けて海外派遣を再開するとともに、オンラインでの国際交流も幅広く提供しています。

2018年度 海外協定大学への
留学学生派遣者数

全国1位

withコロナでも
派遣プログラムを
再開、充実した
オンライン
プログラムも提供中

(2020年3月公表)
日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査」

／アウェイチャレンジ

副専攻プログラム

学部を出て、他分野を学ぶ

学部・センターが提供している各プログラムでは、主専攻とは異なる学問分野を体系的に学び、複眼的な視野を身につけます。関西学院大学が日本で初めて開始したマルチプル・ディグリー制度は、最短4年で2つの学位が取得可能な画期的な制度です。

(例)

商学部

+

法学部

→ 法律が分かる
経営者をめざす

／アウェイチャレンジ

ハンズオン・ラーニング・プログラム

キャンパスを出て、社会に学ぶ

ハンズオン・ラーニングは、国内で唯一、関西学院大学が提供する教育プログラムです。社会に「何を」学ぶのか、問うべき問いは何かを追求し、現場に「触れ」、抽象度の高い課題を実践的に取り組むことで、大学の学びの基盤をつくります。



Feature 5 //

言語教育プログラム

世界の11言語、日本手話も履修できる

多くの北米の教員らによって英語を通じて人格形成が行われ「英語の関学」と評価されてきた関西学院大学の言語教育は、オールイングリッシュを基本とした少人数制授業や、レベルに応じて段階的に学べる仕組みの導入など、時代のニーズに合わせてプログラムを進化させています。



Feature 6 //

地域・社会貢献活動

“Mastery for Service”を体現する貢献活動

関西学院の社会貢献活動は、古くは1891(明治24)年の濃尾地震の救援・支援活動を行ったことが記録に残っています。現在でも、関西学院大学では学生たちの地域・社会貢献活動やボランティア活動への取り組みを積極的にサポートしています。



Feature 7 //

ライフデザイン科目

2022年度から新たなキャリア教育科目がスタート

キャリアセンターでは、“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成をめざし、低年次から学生一人ひとりの「強み」と「持ち味」を引き出す「ライフデザイン科目」を開講しています。低年次から卒業生や社会で活躍する方々と接点を持ち、大学生活をどのように過ごすか、自分らしい生き方、働き方を考える機会とし、人生観・職業観を養うことを目的としています。



Feature 8 //

正課外教育 (KGAD)

体育系課外活動を正課外教育へ

これまで課外活動であった体育会活動を正課外教育として位置付け、その活動を支援するために「競技スポーツ局 (KGAD)」を創設。自ら目標を掲げて指導者や仲間とともに努力を重ね、練達する過程で汎用的能力を獲得するなど大学教育の一環と捉えます。



GRADUATE SCHOOL

大学院

社会と学術の発展に貢献する
文理14研究科

関西学院大学には、研究者の養成をめざす大学院研究科と、高度専門職業人を養成する専門職大学院が設置されています。研究設備が整い、奨学金制度が充実するなど、研究に集中しやすい環境です。



神学研究科

社会とキリスト教界の発展に寄与する
高度な神学の専門家としての能力を磨く

文学研究科

3専攻12領域を有機的に結合させ
より広く深い教育・研究を推進

社会学研究科

現実社会の多様な課題を分析し
解決する力を育み伸ばす

法学研究科

社会の要望に合わせて2コースを設置
法律・政治の高度な専門家を育成

経済学研究科

国際的視野と多面的視点を持つ
時代のニーズに合った経済の専門家を養成

商学研究科

研究職コースと専門学職コースを設置
高い分析力と深い洞察力を養う

理工学研究科

研究内容が国内外で高く評価される研究科
英語運用能力を高める教育も推進

総合政策研究科

「現場」を重視した実践型教育で
高度な政策分析能力、政策提言能力を磨く

人間福祉研究科

人と社会(環境)の交互作用を学び
多様な諸問題の解決を図る

教育学研究科

「子ども理解」をベースに
現代社会の教育問題を解決する

国際学研究科

国際的課題、地域の課題解決に貢献する
スペシャリスト育成をめざす

言語コミュニケーション文化研究科

「英語の関学」の伝統を継承し
言語コミュニケーションの発展に寄与する

司法研究科(ロースクール)

人権、企業、国際、公務に強い
法律の高度専門職業人を養成する

経営戦略研究科

グローバルビジネスをリードする
経営・会計のプロフェッショナルを養成

大学院副専攻「国連・外交コース」

国連・国際機関などの職員養成に
特化した本格的なプログラム



EDUCATION AND RESEARCH INSTITUTE

教育・研究機関

世界トップレベルの研究を創り出し 社会・教育へ還元する

「Global Academic Port」という指標のもと、核となる3つの研究群を中心に
学部・大学院教育や産官学連携などと連動させながら、
競争的環境によって世界トップレベルの研究を創り出します。



詳細はこちら

災害復興から子ども支援まで、教育・研究を行う

17の教育・研究機関

- 災害復興制度研究所
- 産業研究所
- 高等教育推進センター
- 教職教育研究センター
- ライティングセンター
- 言語教育研究センター
- 共通教育センター
- 宗教センター
- 人権教育研究室
- キリスト教と文化研究センター
- 日本語教育センター
- 国際教育・協力センター
- 教育連携室
- ハンズオン・ラーニングセンター
- 子どもセンター
- 大学博物館
- 学院史編集室

学際的、革新的な特色のあるプロジェクト研究センター

25の特定プロジェクト研究センター

- 感性価値創造研究センター
- 政治行動研究センター
- 手話言語研究センター
- 社会心理学研究センター
- シルクロード研究センター
- 島国と海洋文化研究センター
- 危機言語および地域言語プロジェクト研究センター
- 社会情報学研究センター
- 女性活躍推進研究センター
- 人工知能研究センター
- サステナビリティ研究センター
- 数理・データ科学教育研究センター
- SDGs・生物多様性研究センター
- Intelligent Blockchain+Innovation Research Center
- アントレプレナーシップ研究センター
- 世界民俗学研究センター
- デジタル・ヒューマニティーズ研究センター
- イノベーション・システム研究センター
- ジェネラティビティ研究センター
- 外国にルーツをもつ人への支援研究センター
- 価値共創研究センター
- 悲嘆と死別の研究センター
- 韓国学研究センター
- <多様性と共生>研究センター
- クリプトエコノミクス研究センター

(2022年4月1日現在)



TOPICS

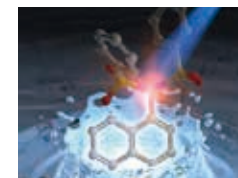
世界をリードする研究の一例

有機化学が可能とする 次世代医薬品の開発研究

ポリミアンの新合成反応開発と
気孔活性植物分子の創出※1

理学部化学科
村上慧 准教授

有機化学の最新手法を用いて、触媒の分子合成を実現する。合成した分子から、生物に作用する新薬の創出をめざす。



バイオ燃料 先進国をめざす

微細藻類から創り出すバイオジェット燃料で、航空業界のCO2排出量を削減※2

生命環境学部生物科学科
松田祐介 教授

環境変化が著しい屋外でも安定的に増殖して燃料を生産することができる微細藻類を創り出すため、微細藻類の光合成メカニズムを解明する。



AI・ビッグデータによる 感性価値創造

人の感性を心理統計学とAIをベースに多様な角度から捉える
感性指標化技術の開発

工学部情報工学課程
長田典子 教授

革新的なイノベーションを関西学院大学、慶應義塾大学を含む多数の大学・企業等による大規模産学研究チームによって実現する。



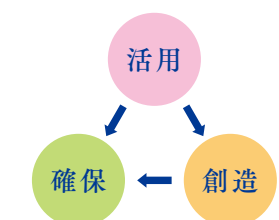
※1 科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業「さきがけ」[2020-2023年度]

※2 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) バイオジェット燃料生産技術開発事業[2020-2022年度]

TOPICS

研究推進社会連携機構

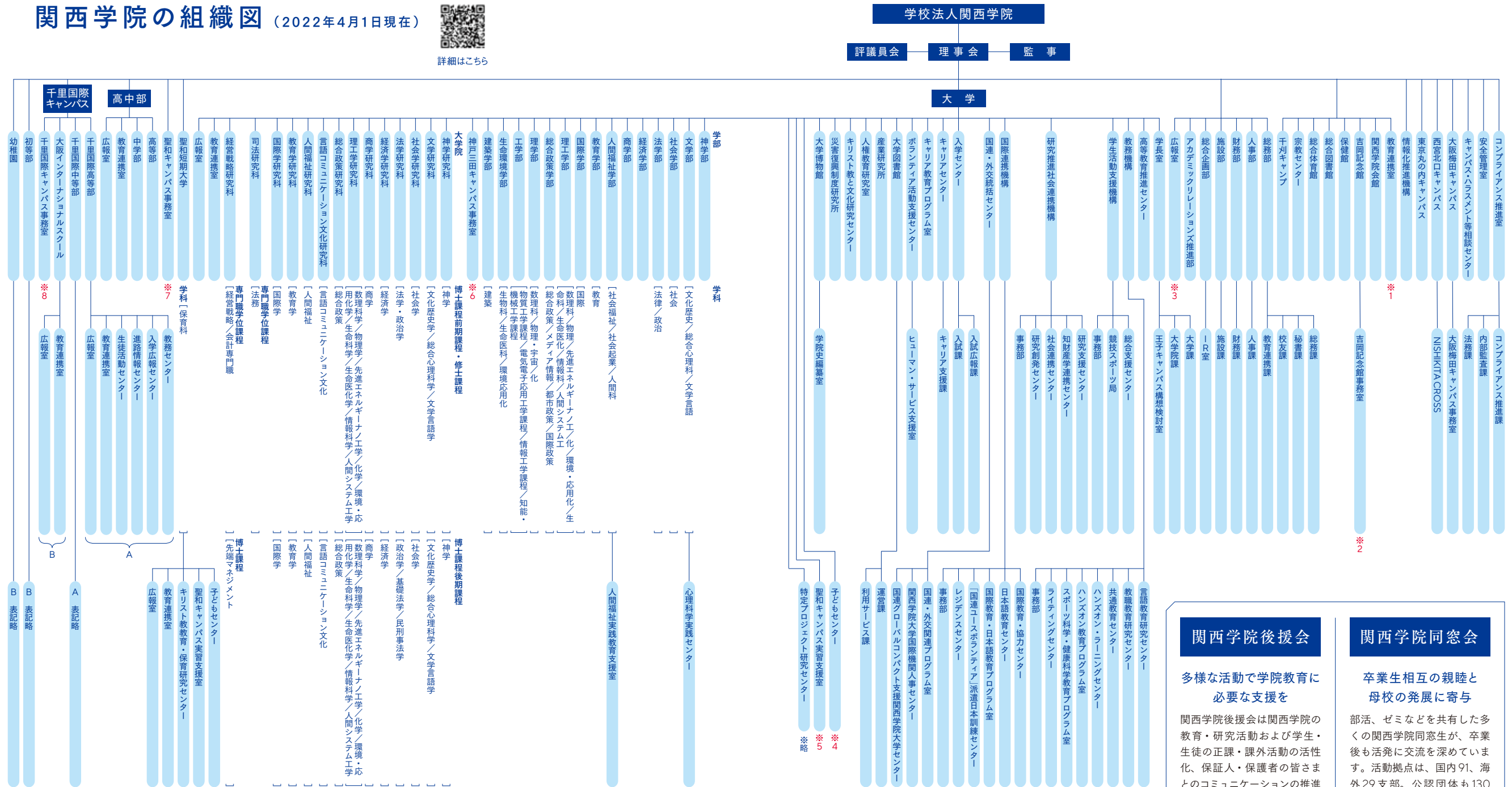
大学の社会的使命とされる教育・研究・社会貢献のうち、主として研究・社会貢献を推進するための中核的役割を担う機構です。機構内に4つのセンター（研究支援・知財産学連携・研究創発・社会連携）を置き、センター相互の連携の下に、研究・社会連携を振興し活性化を図ります。



関西学院の組織図 （2022年4月1日現在）



[詳細はこちら](#)



(注)※1教育連携室は大学、短期大学、高中部、千里国際高等部、千里国際中等部、大阪インターナショナルスクール、初等部及び幼稚園の教育連携室業務も担当。※2吉岡記念館事務室は宗教センター、人権教育研究室、キリスト教と文化研究センター、ボランティア活動支援センター、千刈キャンプ、神学部及び神学研究科の事務業務を担当。※3広報室は大学、短期大学、高中部、千里国際高等部、千里国際中等部、大阪インターナショナルスクール、初等部及び幼稚園の広報室業務も担当。※4子どもセンターは短期大学の子どもセンター業務も担当。※5聖和キャンパス実習支援室は短期大学の聖和キャンパス実習支援室業務も担当。※6神戸三田キャンパス事務室は安全管理室、理工学部、総合政策学部、理学部、工学部、生命環境学部、建築学部、理工学研究科及び総合政策研究科の事務業務を担当。

※7 聖和キャンパス事務室は教育学部、教育学研究科、聖和短期大学及び幼稚園の事務業務を担当。
 ※8 千里国際キャンパス事務室は千里国際高等部、千里国際中等部及び大阪インターナショナルスクールの事務業務を担当。

関西学院後援会

多様な活動で学院教育に
必要な支援を

関西学院後援会は関西学院の教育・研究活動および学生・生徒の正課・課外活動の活性化、保証人・保護者の皆さまとのコミュニケーションの推進と緊密化をはかる目的で、さまざまな事業を行っています。

関西学院同窓会

卒業生相互の親睦と
母校の発展に寄与

部活、ゼミなどを共有した多くの関西学院同窓生が、卒業後も活発に交流を深めています。活動拠点は、国内91、海外29支部。公認団体も130を数え、心強い仲間として支え合っています。

西宮上ヶ原キャンパス

神学部／文学部／社会学部／法学部／経済学部／商学部／
人間福祉学部／国際学部／言語コミュニケーション文化研究科／
経営戦略研究科／関西学院高等部／関西学院中学部

☎ 662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
☎ 0798-54-6017 (広報室)



西宮聖和キャンパス

教育学部／聖和短期大学／
関西学院幼稚園／ぽぷら保育園

☎ 662-0827 兵庫県西宮市岡田山7-54
☎ 0798-54-6500 (聖和キャンパス事務室)



神戸三田キャンパス

総合政策学部／理学部／工学部／
生命環境学部／建築学部／理工学部(募集停止)

☎ 669-1330 兵庫県三田市学園上ヶ原1番
☎ 079-565-7600 (神戸三田キャンパス事務室)



西宮北口キャンパス

司法研究科／文学部心理科学実践センター／
関西学院クレセントスクール

☎ 663-8204 兵庫県西宮市高松町5-22 阪急西宮ガーデンズゲート館
☎ 0798-54-6017 (広報室)



宝塚キャンパス

関西学院初等部

☎ 665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-27
☎ 0797-81-5500



千里国際キャンパス

関西学院千里国際中等部／関西学院千里国際高等部／
関西学院大阪インターナショナルスクール

☎ 562-0032 大阪府箕面市小野原西4-4-16
☎ 072-727-5050



大阪梅田キャンパス

経営戦略研究科／昼夜開講制大学院授業
学生の就職活動支援／生涯学習／研究会活動

☎ 530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー14階
☎ 06-6485-5611 (大阪梅田キャンパス事務室)

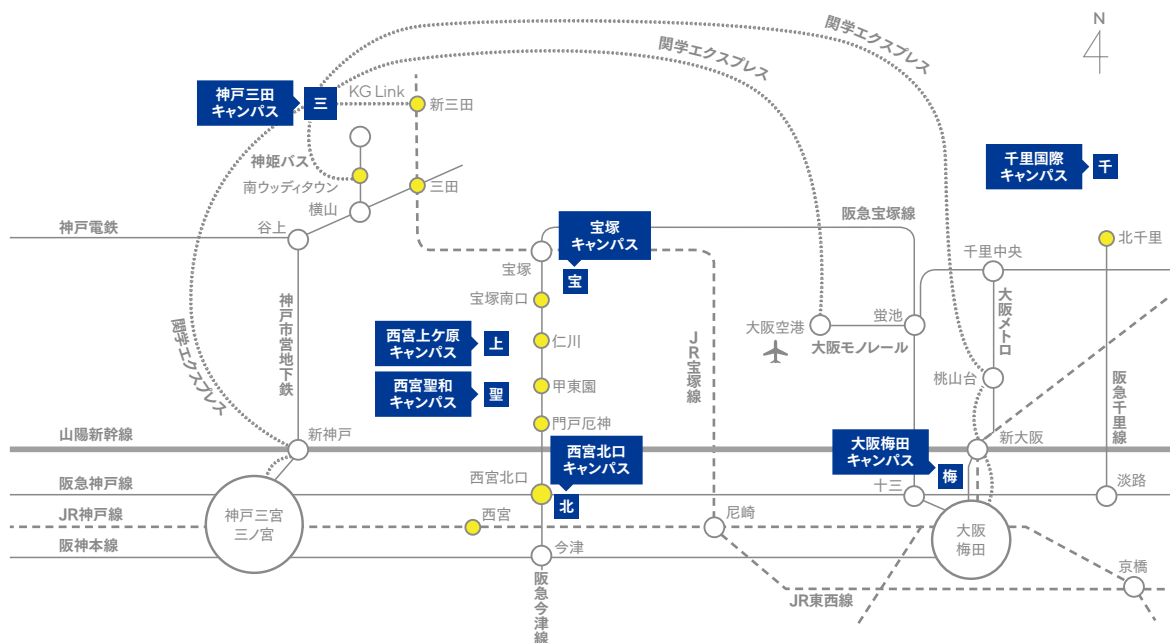


東京丸の内キャンパス

学生の就職活動支援／生涯学習／研究会活動

☎ 100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階
☎ 03-5222-5678





阪急甲東園駅から徒歩12分
もしくは阪急バスにて約5分(「関西学院前」下車)
阪急仁川駅から徒歩12分
JR西宮駅から阪急バスにて18分(「関西学院前」下車)

阪急門戸厄神駅から徒歩13分
西宮上ヶ原キャンパスから徒歩10分
JR西宮駅から阪急バスにて約18分
〔「上ヶ原二番町(関西学院大学西宮聖和キャンパス前)」下車〕

JR大阪駅より神姫バス・阪神バス(関学エクスプレス最速57分)
JR新三田駅から神姫バスにて約15分(「関西学院大学」下車)
神戸電鉄南ウッディタウン駅から神姫バスにて約10分(「関西学院大学」下車)
JR三ノ宮駅から神姫バスにて最速48分(「関西学院前」下車)※¹
JR新大阪駅から最速61分(「関西学院大学」下車)※²
※¹ 途中新神戸駅を経由 ※² 大阪梅田発・経由のバスもありです

阪急西宮北口駅 東改札口すぐ
(阪急西宮ガーデンズ ゲート館内)

阪急宝塚駅から徒歩15分
阪急宝塚南口駅から徒歩10分
JR宝塚駅から徒歩15分

地下鉄御堂筋線・北大阪急行千里中央駅から
阪急バスにて約25分
阪急北千里駅から阪急バスにて約15分

阪急大阪梅田駅から徒歩4分
大阪メトロ中津駅から徒歩4分
(アブロースタワー10階、14階)

JR東京駅日本橋口直結(サピアタワー10階)